

地区定型外訓練「コーチング研修会Ⅱ」



平成 25 年 1 月 22 日
(火) に、吹田市男女共同参画センター・デュオにて、吹田地区定型外訓練「コーチング研修Ⅱ」を、村田紘一講師（地区トレーニングチームスタッフ・吹田第 19 団）を招いて、参加者 8 名とトレーニングチームスタッフ 5 名の合計 13 名で開催されました。昨年 12 月に開催された指導

者や保護者など対成人とのコミュニケーションを図るための「コーチング研修会Ⅰ」に続き、今回はスカウトに対するコーチングの内容であり、サブタイトルは「コーチングがスカウト運動を変える」というものでした。

参加者は 2 班に分かれ、ちょうど今問題になっている体罰に関する新聞記事を読んで感想を述べたり、学校教育の歴史に基づき指導法の変遷を学んだりしながら、子どもたちを取り巻く状況、環境の変化によりティーチングのみの指導に限界があることを知り、コーチングの具体的内容に入っていく参加型の研修会となりました。



教育におけるコーチングスキルは（１）傾聴、（２）質問、（３）フィードバック、（４）承認、（５）勇気づけ、（６）Ｉ（アイ）メッセージが必要であり、この 6 つをひとつずつ班ごとに話し合い、講師が詳細な解説を行っていました。

子どもと接する指導者とは、大人に教えるものでも、動物に教えるものでもなく、成長過程にある子どもを、学ぶことを通して、社会の構成メンバーとして自立させることを目的としており、学者、医者、役者、易者、芸者の五者でなければならないということでした。



最後に講師からは「スカウト数の減少を、子どもたちを取り巻く環境のせいにしていないか？私たちの指導法に誤りがなかったのか？ティーチングのみのコミュニケーションでスカウトに接していなかったのか？」という反省を、各人が行っていかなければならない」と締めくくられました。

指導者委員会・トレーニングチームは、ニーズに合わせ今後もさまざまな訓練を行っていきます。多くの参加をお待ちしています。（り）

【講師紹介】

村田 紘一 吹田地区トレーニングチームスタッフ・吹田第19 団育成会長



小学校教員として、長年教育現場で子どもたちと関わりながら、自然体験、野外活動を通して、子どもたちの可能性を広げる。
元日本連盟副リーダートレーナー。